

たし

2007

9

No. 276



～受け継がなければならぬものがある～



第59回IWC総会が5月28日から31日まで米国のアラスカ州アンカレッジで開催されました。その総会に私たちも日本政府団の一員として参加いたしました。

今年の年次総会には、加盟国77カ国のうち、72カ国が参加しておりました。

今回の会議の主なものは次のとおりでした。

○ **IWCの正常化について**
 今回日本政府は、IWCを正常化【※注1】する努力の一環として、日本は第59回年次会議では、いずれの他の議題の削除も提案もしないと述べました。

○ **先住民生存捕鯨について**
 (5年に一度の捕鯨枠の見直し)

日本は米国やロシアの提案を支持しました。両方共コンセンサス(投票しないで話し合いによる方法)で採択され、二〇〇八年から二〇一二年の捕獲枠が認められました。また、セントビンセントもコンセンサスで認められました。また、捕獲枠の拡大を求めたグリーンランド(デンマーク)については、投票により採択されませんでした。

○ **我が国沿岸小型捕鯨に対する捕獲枠の要求**
 沿岸小型捕鯨について、先住民生存捕鯨と同様の観点から沿岸小型捕鯨に対して捕獲対象種にミンク鯨を加える要求をしたが、日本政府団は、コンセンサスが得られず投票を取り下げました。

その後、水産庁次長が、今次総会においては、

現時点では、IWCに対する対応を根本的に見直す可能性が出てきたことを明言しました。その際、国内関係者から強い要請のある、「IWCからの脱退」「IWCに代わる新たな国際機関の設立」「沿岸捕鯨の自主的な再開等」を例示しました。

今回、IWC総会に出席し、本来のIWCの機能が果たされていないと思われました。また本年は、アラスカの原住民捕鯨等の捕獲枠を決める重要な会議でした。米国は、自国の捕鯨を原住民生存捕鯨と位置づけ、理解を求め、コンセンサスを得られましたが、日本に対しては理解を示しませんでした。また全ての反捕鯨国もそれに同調して米国と同じ意思を示しました。

先住民生存捕鯨は全く商取引の対象としていないのかの言えばそうでもないようです。それなのに日本の捕鯨を商業捕鯨と決めつけて賛成はしませんでした。

このように単に捕鯨反対だけでなく、どのような理由であれ捕鯨は認めないというように感じとれました。

また、今回の会議の中で次のようなことが提起されたり、話あわれたりしました。

○ **混獲と羅網【※注2】の影響については、**捕鯨国、反捕鯨国双方から共通の課題として提起された。

今回、町として次のような活動を行いました。

○ 今回、捕鯨の町との交流を行うために、ノルウェーの代表、またロシアの代表と話し合いました。今後の日程等についても話し合いました。

○ 今回、出席して政府関係者、捕鯨従事者、関係NGO(非政府組織)と交流を深め「鯨の町・太地町」として認識と理解を深めるため努力をしました。

○ 昨年、第5回伝統捕鯨地域サミットが太地町で開催され、その開催記録の英訳文を捕鯨関係国に配布しました。

○ また、水産庁がミンク鯨捕獲要求を行う発言の中で日本の沿岸小型捕鯨地域の関係自治体、並びに捕鯨を営む関係者もこのように出席していることも紹介され、全員が立席しました。

(※注1) 正常化⇨今まで採決に持ち込まないで賛否を決する方向をコンセンサス(投票しないで話し合いによる方法)による合議を進める。

(※注2) 羅網⇨仕掛けた網に掛ける。

IWC 会議の様子



議 会 報 告

平成19年第2回臨時会

平成19年第2回太地町議会臨時会は、8月22日に開催しました。今臨時会では、議長、副議長の選挙、次いで常任委員会委員、議会運営委員会委員も選任されました。

このあと、議会選出各種委員の選任が行われました。

◆公民館運営審議会

副委員長 塩崎伸一
委員 久原拓美
委員 水谷育生
委員 中川治

◆社会教育委員

委員 山本真一郎

◆消防委員会

委員 水谷育生
委員 塩崎伸一
委員 中川治

◆議長 三原勝利

◆副議長 久原拓美

◆総務厚生常任委員会

委員長 中川治
副委員長 塩崎伸一
委員 山下順一郎
委員 山田尚登
委員 漁野勝利
委員 三原勝利

◆産業建設常任委員会

委員長 山本真一郎
副委員長 水谷育生
委員 背古佐登史
委員 久原拓美
委員 筋原敬美

◆議会運営委員会

委員長 筋師敬



～第19回太地浦勇魚祭～

8月14日、17時30分より太地漁港において今年も太地勇魚会が中心となって、江戸時代初期にこの地で発祥し全国に広まった古式捕鯨法「網掛け突き取り捕鯨法」の再現を行いました。当日の朝は、会員20名が漂流人記念碑とくじら供養碑にお参りし、祭の安全祈願と鯨への哀悼の意を表しました。昨年来、社会人をはじめ大学生や高校生など大勢の参加があり、捕鯨文化が若い世代へと引き継がれていっているようです。

また、今回は小学生や帰省客など観客も大勢詰め掛け例年になく活気のある太地浦勇魚祭となりました。



供養碑に黙祷



鼻切り

お知らせ

太地いきいき 情報コーナー

社会保険庁からのお知らせ

インターネットで年金加入記録照会・年金見込額試算（郵送回答）のお申込みができます。

年金見込額のお問合せについては、年金相談、来訪相談、文章相談の他に、インターネットによる照会も受付しています。お申込み日現在50歳以上の方を対象に、社会保険庁（社会保険業務センター）で管理している年金加入記録の照会および年金加入記録に基づいた老齢年金の年金見込額試算を行います。

見込額試算は、被保険者ご本人の被保険者期間のみで受給要件を満たしていることが必要です。（既に老齢年金をお受けになっている方はご遠慮ください。）見込額試算は、厚生年金に加入中の方の場合、60歳未満の方は60歳で退職、65歳未満の方は65歳で退職されるものと仮定する等、一定の条件を前提としています。

年金額の試算結果については、郵送によるお知らせの他、電子文書によるお知らせも行っています。ご利用になる方は、あらかじめ

公的個人認証サービス等の電子証明書の取得をお願いします。

なお、50歳未満の方は、「年金額簡易試算」をご利用ください。

お知らせ

財団法人 労災保険情報センター（RIC・リック）では、厚生労働省の委託を受けて、労災医療、労災補償等の労災保険制度全般のご相談をお受けしています。相談は無料で秘密は厳守いたします。お気軽にご相談ください。

（RIC）財団法人 労災保険情報センター 和歌山事務所

〒640-8331
和歌山市美園町3丁目32番1号

認定を受けて

企業のイメージアップを!

次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事と子育ての両立支援のための一般事業主行動計画を策定・実施し、計画に定めた目標を達成したことなど一定の要件を満たした企業を、都道府県労働局長が子育てサポート企業として認定する制度があり、認定を受けた事業主は、マークを自社の広告商品、求人広告等につけることができます。

■行動計画の策定、認定についての問い合わせは和歌山労働局雇用均等室（073-421-6157）まで

作業主任者技能講習会開催

建設業労働災害防止協会和歌山県支部では、労働安全衛生法に基づく講習等を実施しています。

★型枠支保工の組立て等作業主任者講習

- 日時 10月9日～10日
- 受講料 9900円
- 受付開始 9月10日～
- 場所 和歌山県勤労福祉

会館（プラザホープ）詳しくは、建設業労働災害防止協会和歌山県支部（073-436-1327）にお問い合わせください。

働く未来を考える
平成19年10月1日現在で
就業構造基本調査を実施します

全国から抽出された約45万世帯の15歳以上の方々を対象に、ふだん何か収入になる仕事をしているかどうかや就業に関する希望などについて調査します。

調査結果からは、若者、高齢者や女性の多様化する就業状況や産業構造の変化に伴う雇用流動化の実態など就業に関する詳しい状況が明らかになり、雇用政策や経済政策などの各種行政施策を立案する際の基礎資料となります。

調査の対象となる世帯には、統計調査員が伺い調査票の記入をお願いしますので、よろしくご協力ください。

総務省 和歌山県 太地町

下里水路観測所の一般公開のお知らせ

○期日 平成19年9月14日
(金)、15日(土)
午後2時～9時(施設公開及び天体観望会)
夜間観望会 当日の条件
14日 日没18時06分
月齢6・0
15日 日没18時04分
月齢7・0
○申し込み 申し込み、参加費ともに必要ありませんので、直接観測所までお越し下さい。
○場所 下里水路観測所
天候に関わらず施設公開は実施します。観望会については天候により中止する場合があります。
詳しくは、下里水路観測所(58-0084)までお問合せください。

しっかりと仕事、しっかりと休暇

時間に追われて働くのではなく、時間を活用して働く「時間の達人」になって豊かでゆとりのある生活を実現しませんか。

労働で話し合って、仕事も休暇も計画的に！
平成18年4月1日から「労働時間等設定改善法」が施行されたことを受け、近畿6府県の労使代表及び学識経験者が参集した「近畿ブロック仕事と生活の調和推進会議」では、労使関係者が仕事と生活の調和を推進するにあたって参考となる「近畿ブロック仕事と生活の調和推進会議申し合わせ事項」を策定しました。この推進会議申し合わせ事項を参考に、労使で話し合っ

て、年次有給休暇等の計画的な取得やノー残業デー(定時退社日)の実施など、仕事と生活の調和のとれた働き方を目指した改善に取り組んでみませんか。詳しくは、和歌山労働局監督課(073-4222-2172)までお問い合わせ下さい。

平成20年度和歌山県農業大

学校【専修学校】学生募集
◇募集人員 40人
◇受験資格 原則として県内に住所を有し、概ね30歳

以下で、高等学校を卒業した者又は平成20年3月卒業見込みの者
◇願書受付
推薦入学 平成19年11月8日(木)～22日(木)
一般入学 平成19年12月14日(金)～26日(木)
◇試験日
推薦入学 平成19年11月30日(金)
一般入学 平成20年1月10日(木)
応募についての詳しいことは、農業大(073-6-22-2203)、県庁農林水産部新ふるさと推進課、各振興局産業振興部農業振興課までお問い合わせください。

改正フロン回収破壊法

☆商店主、ビルのオーナー、企業の方々、建設関連業者の方々、フロン回収業者の方々にお知らせです。フロン回収破壊法が改正され、関係者の方々に新たな役割が定められました。詳しくは、和歌山県環境生活部環境管理課(073-

441-2688)までお問い合わせください。

町営じゅんかんバスの回数券販売について

回数券販売場所
◎太地町役場出納室
◎南紀園
◎社会福祉協議会(多目的センター)
月～金曜日 午前8時30分～午後5時30分
◎老人憩の家
水曜日 午前10時から12時(但し、年末年始の各庁舎の閉庁日、祝祭日を除く)
■回数券利用
大人 10枚綴1000円
中学生・高校生 10枚綴900円
小学生 10枚綴500円
●身体障害者手帳の1級、2級並びに下肢の3級、4級、5級の交付を受けている方以外で身体障害者手帳を所持されている方は半額(障害者手帳を提示)10枚綴500円
●無料の方
①身体障害者福祉法第4条に規定する方で、同法第15

育児相談(こども)

育児について心配はありませんか。気軽に子育ての悩みや疑問等を相談してください。
■毎週 月・水曜日
13時30分～15時
59-2321(太地幼稚園)

～太鼓を購入しました～

今回、財団法人 自治総合センターによるコミュニティ助成事業（宝くじ助成）の補助を受け、太鼓7台及び関係備品を購入しました。



～水泳大会が開かれました～

8月19日(日)太地小学校プールにおいて、水泳大会が開催されました。ボール投げや宝探しなど参加した児童は大いに楽しんでいました。



～歓迎！ 白馬北小5年生訪問団～

7月25日、白馬北小学校5年生61人が来町され、翌日公民館において太地小学校5年生43人との交流会を開催し、約半年ぶりの再会を果たしました。両校の交流は昭和60年に始まり、今年で23回目を数えます。冬には、太地小学校の生徒が白馬村を訪問し、雪遊びなどを体験させて頂いています。交流会の後、隣町的那智勝浦湾から観光船に乗り、紀の松島巡りを楽しみ、くじら浜公園栈橋前にて下船し、くじらの博物館内でイルカショーなどを見学して頂きました。午後には向の浦で、海水浴や貝採りなどを楽しんでいました。両校の生徒の皆さんには、夏のいい思い出になった事と思います。



くじらの博物館便り

ニューベッドフォード捕鯨博物館の収蔵庫

ニューベッドフォード捕鯨博物館を訪ねて、くじらの博物館が所蔵するダーティング・ガンについて調べてきました。写真は収蔵庫で撮影したもので、様々なモデルの捕鯨銃が収められています。ダーティング・ガンとは、爆発銃を発射する銃装置です。長い木の柄の先に金属の銃をつけるのは日本もアメリカも同じですが、ダーティング・ガンも、やはり柄の先に、銃と並んで装着されます。命中すると同時に引き金が引かれて爆発銃が発射され、数秒後に鯨の体内で爆発するという仕組みです。太地でも、古式捕鯨が終焉しつつあった明治末期に使用されたことが分かっています。明治35年(1902)12月、背古君太夫氏はダーティング・ガンを使って、太地捕鯨史上初めてナガスクジラを仕留めました。褒美として君太夫氏は捕鯨会社から黒紋付一式をもらったそうです。賞状を納める木箱が博物館に伝わっており、その箱の裏に顛末が記されていました。

博物館に伝わる三基のダーティング・ガンは、すべて1880年頃にアメリカで製造されたものであることが分かりました。どのような経緯で博物館に伝わったのかは定かではありません。あるいは君太夫氏が使ったものかもしれません。これらのダーティング・ガンは、他の捕鯨銃砲類と一緒に、今年の春に和歌山県指定文化財に登録されました。博物館3階に、君太夫氏の写真や賞状箱とともに展示しています。



ニューベッドフォード捕鯨博物館の収蔵庫には、ありとあらゆる捕鯨資料が保管されています。

《保健衛生関係 9月行事予定》

6日(木)ハイハイひろば(0歳児の遊びの教室)	10:00~11:30	ふれあいルーム	14日(金)乳幼児健康相談	10:00~11:30 14:00~15:00	ふれあいルーム 多目的センター
7日(金)10か月児健診	10:00~10:30(受付)	那智勝浦町 福祉健康センター	20日(木)MR・三種混合予防接種	13:00~13:30(受付)	多目的センター
12日(水)成人健康相談(血圧測定)	10:00~11:30 14:00~15:00	公民館 老人憩いの家	21日(金)成人健康相談(血圧測定)	10:30~11:30 13:00~13:30 14:00~15:00	森浦集会所 夏山区長さん宅 平見集会所
13日(木)ヨチヨチ・トコトコひろば (1歳児・2歳児以上の遊びの教室)	10:00~11:00	ふれあいルーム	27日(木)4か月児健診	15:00~15:30(受付)	那智勝浦町 福祉健康センター

※日程は変更する場合があります。

—白馬からお便り— 【姉妹都市「白馬村」コーナー】



「白馬駅前」に足湯ができました!
白馬村は例年より10日ほど遅い梅雨明けとともに8月が始まり、夏の観光シーズンも最盛期を迎えました。
白馬町区活性化委員会が長野県の「地域発元気づくり支援金」を活用し7月に完成したばかりの足湯「白馬駅前の湯」も多くの観光客の方々に利用されています。

住民基本台帳
(平成19年7月末日現在)
総人口 3,653人
男 1,643人
女 2,010人
世帯数 1,671世帯

秋季大運動会 (太地小学校運動会)

☆9月23日(日) ※雨天の場合は順延です

太地町老人福祉大会

☆9月30日(日) 午後1時より 公民館大集会室において